

かじや ともひろ 知宏

議員報告



地域配布版第33号(通算155号)
令和5年春発行



大阪維新の会枚方市議団からの緊急要望で

物価高騰に対する枚方市の独自支援策が実現

すべての家庭・事業者の固定費支援
水道料金基本料金6ヶ月の減免

子育て世帯への支援
子どもへの1万円のギフトカード配布

事業者への支援
幼稚園、保育園、介護施設等への
光熱費支援

国・府の支援の対象外への支援
住民税均等割りのみ世帯への
給付金支援



かじや維新市議団代表から伏見市長に緊急要望書を提出

長引くコロナ禍に加え、光熱費や食料品、衣料品などの物価高騰が市民生活や事業活動に大きな影響を与えています。

この様な状況の中、直面する物価高騰による影響を緩和するための効果的な対策を適切な時期に実施するとともに、経済社会活動の回復を確かなものにしていくことが求められています。

大阪維新の会枚方市議会議員団では「コロナ禍における原油価格・物価高騰対策についての緊急要望書」を、昨年5月、9月、今年2月の3回にわたって枚方市に提出しました。

すべての家庭・事業者の固定費への支援をはじめ、国や府の支援の対象外となる方への支援や、特に物価高騰の影響が大きい子育て世代への支援などを中心に要望し、水道料金基本料金の6ヶ月間の減免や子どもへの1万円のギフトカード配布、福祉施設等への光熱費支援、学校給食の原材料費の補てん等の支援

策が実施されることになりました。

今後も、大阪維新の会枚方市議会議員団では、国・府の議員、市長としっかりと連携し、迅速な市民・事業者への支援と行政課題の解決に努めていきます。

その他の物価高騰に対する独自支援策

- ❖ 小中学校給食に係る原材料費の高騰分支援
- ❖ バス・タクシー事業者等への燃料費高騰支援
- ❖ 省エネ家電への買い換え費用の補助
- ❖ 産後ケア事業委託施設への光熱費等支援

予算編成に関する128項目の要望を市に提出

大阪維新の会枚方市議会議員団 政策提言2023

一部抜粋

大阪維新の会枚方市議会議員団では、行財政改革による財源確保策をはじめ、枚方市駅周辺再整備などのまちの魅力を高める大型プロジェクトや、物価高騰に対する支援策、大規模災害への対応、教育・子育て支援、福祉等の住民サービスの充実などの市政課題128項目を取りまとめ「令和5年度枚方市予算編成に関する要望書」として、令和4年11月9日、枚方市の伏見隆市長に提出しました。

予算要望の全文はQRからご覧いただけます



伏見市長と市政の課題について意見交換

新型コロナウイルス対策及び物価高騰対策

- 厳しい状況に置かれているひとり親や生活困窮者、中小事業者などに対する支援の充実

徹底した行財政改革

- ICTを活用した手続きや相談支援のできる地域拠点の整備
- 自治体間連携による産業・観光振興や、事業の効率化ーなど

安心・安全・快適なまちづくり

- 避難所の機能強化及び避難生活環境の改善
- 着実な道路整備による渋滞解消や通学路の安全対策等の強化ーなど

枚方の『成長』を推進

- 舟運など淀川を活用した賑わいの創出
- 新婚家庭等への新生活支援事業の拡充ーなど

子育てを枚方のブランドに

- 子育て世帯に対する包括的な支援体制の強化
- 留守家庭児童会室の長期休業期間中における昼食提供ーなど

生きる力を育む教育

- 民間事業者との連携等による不登校支援強化
- 学校施設へのエレベーターの設置促進ーなど

枚方の未来をつくる重点施策

- ▼ 子ども医療費助成の対象を22歳まで拡大
- ▼ 出産費用の実質無償化、育児費用の負担軽減
- ▼ 通年の待機児童ゼロの実現と認定こども園の設置
- ▼ 児童相談所の設置と児童養護施設の誘致
- ▼ 支援教育の人材確保と通級指導教室の全校設置
- ▼ デジタル人材の確保・育成と、オンライン申請などDXの推進
- ▼ 中学校全員給食の実現と無償化に向けた検討
- ▼ 塾や習い事に活用できる「教育バウチャー券」の配布
- ▼ 広域連携による大阪・関西万博の波及効果拡大
- ▼ 枚方市駅周辺再整備の推進及び市民理解の促進

誰一人取り残さない持続可能なまちづくり

- 公共施設等へのユニバーサルデザインの導入促進
- 女性の就業継続支援体制の充実ーなど

福祉・医療・介護施策の推進

- 入院・入所時の身元保証や見守り支援の実施
- 带状疱疹予防ワクチン接種費用への助成ーなど

かじや知宏 プロフィール

- 枚方市議会議員(現在2期目)
- 大阪維新の会枚方市議会議員団代表
- 教育子育て常任委員会委員長
- 議会運営委員会副委員長
- 枚方京田辺環境施設組合監査委員

経歴

昭和43年9月12日生まれ。阪保育所、殿二小学校、第三中学校、枚方高校、龍谷大学文学部社会福祉学専攻を卒業。(株)報知新聞社での11年間の勤務を経て行政書士に。大阪府行政書士会綱紀委員、同企画広報部副部長、同枚方支部副支部長、NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議理事、中司宏事務所政策スタッフ等を歴任。

現在

かじや行政書士事務所代表、大阪府行政書士会枚方支部顧問、枚方高校同窓会校友会副会長等。

趣味

読書、スポーツ観戦(プロ野球、格闘技等)、神社仏閣巡り、観劇(宝塚歌劇団、ミュージカルなど)。

市政に関するお問い合わせは

発行元 | かじや知宏 〒573-0171 枚方市北山1-23-57
☎ 090-3705-9393 ✉ tomohiro@t-kajiya.com

大阪維新の会枚方市議会議員団
〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 枚方市役所本館4階
☎ 072-841-1221(代)

LINE公式アカウント

右のQRをスマートフォンやタブレットのLINEアプリで読み取り「友だち追加」ボタンを押してください。

LINE
友だち登録を
お願いします



駅前報告を行っています～670回継続中～
午前6:20頃～8:30頃に駅前で「議員報告」の配布を行っています。

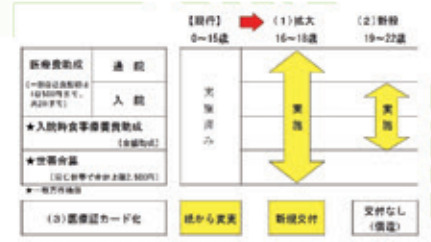
この4年間で取り組んだ政策課題

令和元年5月に、枚方市議会議員の2期目の任期をスタートさせていただいてから、早いもので間もなく任期満了を迎えます。この4年間の任期を振り返り、重点的に取り組んできた政策課題について、紙面の関係上、一部を抜粋してご報告します。

改革と成長で財源を生み出し 住民サービスの向上を実現

教育・子育て支援の充実

次世代への徹底投資！ 教育環境整備と保護者負担の軽減



次世代を担う子どもたちへの投資が重要との考えのもと、どのような家庭環境にあっても、教育や子育ての機会に格差が出ることのないよう、教育・子育て支援の環境整備をはじめ、保護者負担の軽減に取り組んできました。

- 子ども医療費助成制度の拡大が実現
● 全小中学校へのタブレット端末導入など、ICT機器の活用
● 学校図書館への司書配置等による、子どもの読書活動の充実
● 子ども医療費助成の18歳までの拡大
● 第2子以降の保育料無償化
● 公共施設を活用した待機児童対策の推進 ー など

新型コロナウイルス対策

医療提供体制の強化や 市民・事業者への支援策の充実



コロナ患者の受け入れを担った 市立ひらかた病院



感染対策店応援事業として プレミアム付商品券を発行

市民や事業者の皆さんとの意見交換会を開催し、そこでいただいたご意見をもとに、支援を必要とする方に寄り添ったタイムリーで効果的な支援策の実施につなげました。

- 医療従事者や病床、医療・衛生物資の確保
● ワクチン接種会場の拡充及び予約体制の強化
● 高齢者、障がい者施設における定期検査の実施
● 市内事業者への家賃支援など市独自支援の実施
● プレミアム付商品券の発行 ー など

徹底した行財政改革

民間との連携やDXの推進で 市役所業務を効率化



北部リーフでのオンライン相談の検証

人口減少や少子高齢化、複雑多様化する住民ニーズ等の課題に対応するため、公民連携やDXの推進、事業の見直し等を提案するなど、効果的・効率的な市役所業務への転換に取り組んできました。

- 市の課題解決に民間のアイデアや技術を活用する仕組みを導入
● オンライン申請・相談やキャッシュレス決済などの実施
● 公共施設総量の適正化及び市有財産の有効活用
● 補助金や外郭団体の最適化 ー など

枚方の「成長」を推進

地域資源の活用や自治体間の連携により まちの魅力を上向き交流人口の拡大を



整備が進む枚方市駅前③街区の複合ビル



文化・芸術の拠点となる総合文化芸術センターがオープン

枚方市駅周辺再整備をはじめとするまちの魅力を高めるコンテンツの整備や、地域資源の活用、自治体間の広域連携による賑わいの創出などを提案し、関係人口や交流人口の拡大につなげることで、枚方の「成長」を促す取り組みを進めてきました。

- 枚方市駅周辺再整備の推進
● 総合文化芸術センターを活用した文化・芸術活動の活性化
● 民間活力の導入による公園での賑わいづくり
● 新産業創出に向けてのインキュベーター支援 ー など

福祉・医療・介護施策の推進

住み慣れた地域で いつまでも安心して暮らせる社会を



成年後見制度の利用促進をテーマに委員会調査活動



障がい者の就労支援施設を視察

誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるよう、健康寿命の延伸をはじめ、セーフティネット機能の強化に取り組んできました。

- 高齢者、障がい者の権利擁護施策の充実(成年後見制度利用支援事業の拡充、福祉サービス利用援助事業等の拡充)
● 生活習慣病・認知症予防の取り組み推進
● 障がい者の就労支援の促進 ー など

安心・安全・快適なまちづくり

市民・事業者との協働による 防災・防犯体制の確立



▲整備が進む楠葉雨水貯留施設



市に導入された電気自動車▶

住民の生命・財産を守り、誰もが安全で安心して暮らせるようにすることが行政の大きな役割です。特にハード整備は行政の責任で、ソフト面においては地域や事業者、NPO等と連携しながら、住みよいまちづくりに取り組んできました。

- 避難所の環境整備
● 浸水対策の強化(雨水貯留施設の整備、ポンプ場の更新等)
● 自治会等のICT利活用に対する支援
● 新名神高速道路及び新淀川渡河橋の整備推進と周辺道路等の渋滞・安全対策の実施
● 防犯カメラの増設
● 非常用電源として活用できる電気自動車を公用車に導入 ー など

議会改革

政策提言機能の強化や DXによる効果的・効率的な議会運営



タブレット端末やオンラインを活用

DXの推進などによる効果的・効率的な議会運営への転換をはじめ、常任委員会での所管事務調査の充実などチェック機能や政策提言機能の強化に取り組んできました。

- 政務活動費の収支報告書、領収書等の関係書類を市ホームページで公開
● タブレット端末の活用によるペーパーレス化の推進
● オンラインによる委員会への出席を可能に
● 常任委員会による所管事務調査の充実 ー など